

# 墨田区議会

# 自由民主党会派報

発行  
墨田区議会自由民主党  
墨田区吾妻橋1-23-20  
発行責任者 田中 邦友  
編集責任者 中沢 進

区議会ホームページ  
http://www.city.sumida.tokyo.jp/kugikai/

## 新年明けましておめでとうございます

新しい年を迎え、わたしども墨田区議会自由民主党は決意を新たに17人の議員が一致団結して墨田区の発展のため、墨田区民の安寧と福祉の向上のため、全力を尽くしていきます。各議員は次のように抱負を述べております。



はやかわ こういち  
**早川 幸一**  
石原三一九一  
☎三六二二七〇〇八

「官から民へ」  
議員の年費は九三〇万円。退職金は、一七〇〇万円。年金は二五〇万円。しかも、休日は一四五日。区内の実体とくらべて恵まれ過ぎです。  
学校給食の民託については先頭に立って活動し、累積で約四〇億円以上の節約ができました。  
この実績を踏まえ、保育園の給食の民託化にも全力投球をいたします。  
区民の皆様と協力をお願いします。



たきざわ よしひと  
**瀧澤 良仁**  
墨田五三三三  
☎三六一一四〇〇三

波瀾万丈、昨年はこんな言葉で表せる様な年であったと思います。猛暑、台風、水害、地震と日本中が自然災害の脅威に曝された。加えて人的災害も忘れずは出来た。大企業の経営、欠陥の隠蔽、警察や社会保険庁、特殊法人等の金銭感覚のズサンさには呆れても言えない。自ら決めた法律さえも守れない国会議員に多くを望むのは無理なものでしょうか。しかし、地方議員は、地方自治体が住民に反する些細な過ちでも許す事は致しません。住民生活の安定と安心を求め努力する事は議員として当然の務めでもあります。今年も頑張ります。



にしはら ふみたか  
**西原 文隆**  
押上一二二五  
☎三六二二一九五七〇

昨年は、大型台風そして大地震で全国各地が大変な被害を被りました。一日も早い復興を心から祈念いたします。そして、この事を対岸の火事と捉えるのではなく、本区の防災体制をもう一度点検する必要性を強く感じた次第です。  
私は現在区民文教委長を務めておりますが、今こそ教育改革を大胆に推進しなければなりません。それには教育関係者のみならず、地域の皆様方の大きな力が必要です。どうぞお力を貸してください。



なかむら みつお  
**中村 光雄**  
高田四一七  
☎三六二二七七八七〇

昨年は、異常気象による真夏日の記録更新、超大型台風のたび重なる上陸、新潟県中越地震、メーデーによる呼びかけでの集団自殺、親殺しや児童虐待、凶悪殺人事件等まさに社会混乱の顕著な年でありました。  
本年は、このような恐ろしい状況を打破し、明るく元氣な社会をつくるために全力で頑張ります。  
区民の皆様が、希望と喜びの持てる年となりますよう、共に頑張りますよう。  
本年もよろしくお願ひ致します。



まつの ひろこ  
**松野 弘子**  
墨田三三〇一  
☎三六一〇一三八六三

すみだの子供達が明るくのびのびと育つてほしいと願っています。それには、家庭・学校・地域の役割分担を明確にし、それぞれがしっかりと責任を果たしていかなければならないと思います。しかし、共働きの多い昨今、家庭において子供達の生活に目が届きにくいという実情の中で、「学校は」「行政は」「それらをどう補っていくべきか」しっかり考えたいと思います。また、子供達には「ふるさとすみだを愛する心」を育てたいと思います。



あべ ゆきお  
**阿部 幸男**  
京島三一五一  
☎三六一七一二二八四

輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。  
私も区議会議員は、年賀状等の一紙一枚がでないことになっていまして、大変申し訳なく思うとともに今後ともよろしくご理解下さいますようお願い申し上げます。  
さて、少子高齢化の時代、子どもを産み育てやすい環境をつくり、最大限の支援対策がとれるよう努力いたします。また、高齢者の方々には、元気で地域のために働ける場と支援策が取れるよう努力してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



なかざわ すすむ  
**中沢 進**  
堤通一一五九  
☎三六一一〇七四〇〇

新年を迎えて、私は行政の公平性と平等性、行政のやるべき仕事と民間にまわせる仕事の区別について追及していくことを新たに決意しました。  
区立幼稚園では園児一人当たり月額九万円の税金を使い、私立幼稚園の園児には平均月額二万円の給付的補助です。こんな不公平が許されていいのでしょうか。絶対に正していかなければなりません。  
明るい話としては、押上地区に新東京タワーを誘致し、そこに忠臣蔵の青良屋敷を再現すること、この実現をめざして一生懸命がんばります。



さかした おさむ  
**坂下 修**  
向島三一八一  
☎三六一二二二五二四

地方分権の大きなうねりの中、三位一体改革をはじめ課題が山積しておりますが、今こそ区民が何を望み、何が必要かを明確に判断し、行政改革の更なる推進をして区民本位の区政を行なってまいります。  
私は少年野球の会長として野球を通して青少年の健全育成にも力を注いでまいります。ルールとマナーを守ることを徹底し、基礎体力の増強と併せて社会の中で力づくよく生きぬく子供達を育てていきたいと願っています。

# 新年明けましておめでとうございます



小池 武二  
八広六一四一六一五〇六  
☎三六一七一三二一八四〇

「鶏頭の十四五本もありぬべし」  
正岡子規は身動きできない寝たきりの「鶏床六匹」で世の中を見ていた。その第六十七では、「家庭の教育はその子供の品性を養って行くのに必要であり、それは一家団集が大事である。家庭教育の価値はある場合において学校の教育よりも重い」と書いている。明治二十五年、今から百年も前のこと。墨田区では、毎月25日を「家庭の日」としています。  
私も今年是一家団集でスタート。



木内 清  
本所二一九五  
☎三六二四一八三三五

私は、現在墨田区監査委員の仕事を務めて、改めて行政をより深く調査・検討する機会を得られました。役所は常に区民の目線で実行する体制であるべきです。それは、「行政のあるべき仕事かどうか」「税金の収入・支出をして使われ方はどうか」「区民への報告が、しっかりとされるべきであり、透明性・わかりやすい報告実現に力をつくします。



出羽 邦夫  
八広四一一一一九  
☎三六二六一五八三三四

スリムな「すみだ」のために必要な「行財政改革」。本年より小学校まで導入される二学期制や激進な教育改革。二十一世紀の墨田区のために、今大事な基礎づくりです。  
目先に捕らわれることなく、何が必要で、基本は何であるかを忘れずに、取り組んでいくことが肝心であると私は思っています。「すみだ」に生まれ「すみだ」で育つ「すみだ」で豊かな老後を送ることが訪れる、そんな墨田区づくりに頑張ってもらいます。



藤崎 よしのり  
向島五二四二二三  
☎三六二二三一〇〇一〇

新年明けましておめでとうございます。  
本年は、「すみだ」から「東京」日本へ、「すみだ」の心意気・技術を発信していくため、より一層の精進を志します。「すみだ」だから出来る「防犯・治安対策の強化」「教育基本法」改正を視野に入れ、家庭・地域・学校が一体となった教育改革の推進、卓越した「すみだ」の技術を様々な媒体を駆使し世に送り出し、中小企業の発展推進、全力で取り組んで参ります。皆様の協力をお願い申し上げます。



中嶋 常夫  
業平四一五一一六  
☎三六二二一七九八四

私たちが取り巻く社会経済情勢は、まだまだ明るい展望の見えない中で、国の二位一体改革、また、都区制度改革における都区間との役割分担や財源配分の明確化の合意にはいたっておりません。平成十七年度までにはこれらの問題解決に全力を尽くすと共に、更なる墨田区の財政健全化を進め、今、策定に着手している墨田区の羅針盤となる新たな基本構想等、区民の皆様の期待と信託に応えられる諸施策に全力をあげて取り組んでまいります。



田中 邦友  
八広一一三九一七  
☎三六二六六七〇一四

「区民が主役の区政」。  
平成十七年は、今後の区政にとって大変重要な年であり、新たな墨田区基本構想の策定、東京都と特別区間の財源配分をはじめとする主要課題の解決、また、財政の健全化へ向けた行財政改革の着実な実施や学力テストの結果を踏まえた教育改革の推進、更には、「次世代育成支援行動計画」に盛り込まれた子育て支援施策の速やかな実行など、私は、区民との協働を前提に、区民が主役の区政をめざし取り組んで参ります。何卒本年もよろしくお願ひいたします。



沖山 仁  
京島一一三九一一九八  
☎三六二六一二〇五〇

「仁」とは、「何れもドラを鳴らすこと」。  
中国では非常に、人々に警戒をうながす意味で、ドラが鳴らされた。このドラのことを「丁家」という。そのため合図なので、一回だけ鳴らしておしまいと言った訳にはいかず、何度も何度も復して、告知を徹底させた。それが転じて、念入りなものを「丁家」というようになった。警備の意も含まれ、私は「丁家」に丁家、今年も区政に取り組んで参ります。私に丁家に丁家、今年も宜しくお願ひいたします。



桜井 浩之  
立花五二二八一三  
レジデンス石原二一〇  
☎五六三二一七七五七

新春を迎え皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。  
私の今年の抱負は、「頑張るすみだ」!!  
課題山積の墨田区ではありませんが、努力して出来ないことは無い!!  
希望もてる墨田区へと変わるはずですよ。



樋口 敏郎  
八広三三六一三  
☎三六一七一四二二九

墨田区は、二〇〇五年大いに変化すると考えられます。  
曳舟駅前地区・押上、業平橋駅周辺、精工舎跡地の開発、中でも新東京タワーの誘致が、わが区にとって大変重要なポイントになってきます。また、教育力の充実に向けての様々な取り組み、子育て支援、高齢者の施策、産業振興を確実に実行していくかなければならないと考えます。皆様の「笑顔と活力の溢れる墨田区」である様に、精一杯努力し進んでまいります。

## 年頭所感

昨年の夏は大変な暑さでした。朝早く荒川の土手を歩いていたら小さな奇跡を発見しました。左の写真にあるようにコンクリート護岸のほんのわずかな隙間にオレンジ色の花が、たくさん咲いておりました。この花は「黄花秋桜」というそうです。この可憐な花たちの姿を見るたびにその生命力の強さにびっくりにしてしまいます。



そういうえほんな話を聞いたことがあります。昭和天皇が散策されていたとき、お付きの人が「雑草が生えてますね」と言ったら、天皇は「世の中に雑草という草はない。みなそれぞれ名前がある」と言われました。どんなに小さな名も知らぬ草花にも命が宿っており、その生きている意味があるのだということをわれわれは忘れてはいけません。命の大切さ、生命の力を感ずていく心、自然や環境を大事に思う気持ちを持ち続けることが必要だと改めて感じています。(K・T)

公職選挙法により、年末・年始の挨拶状は禁止されています。本紙をもってご挨拶とさせていただきます。